ONjuSF AAA . 32(2000) .3

uv(Y[OAqŁ.bcwa

L C y D ()

k V :

:

,

,

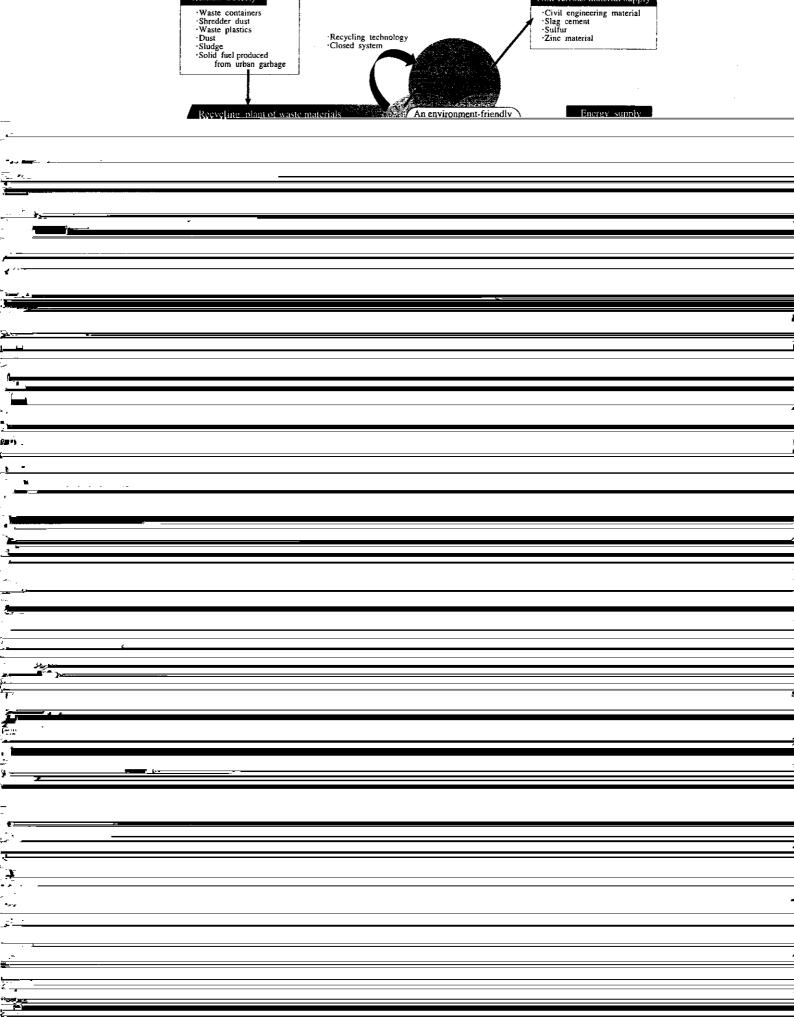


	1950	1960	1970	1980	1990 L		2000	
				<u> </u>			1	
	15	. 5					L	
-B								
X-								
<u>}</u>	<u>(</u> ~							
- - {								
<u>'</u>								
· ·								
`								
MONTH A								
<u> </u>				ı. •				
ć. — 								
<u> </u>								
*								
ı								
<u> </u>								
•						<u>}_</u>		
ı								
-								
		17						\ <u></u>

,					•			
ı								
1								

Human Society

Non-ferrous material supply



	範囲に渡って精力的になされてきた。その結果、鉄鋼材料は価格・	エネルギー,CO2 削減の技術開発が期待される。さらに,鉄鋼製品
<u> </u>	Action to the second of the se	
و و و و و و و و و و و و و و و و و و و		

· -a -— :		
F		
<u> </u>	- ,-	
<u> </u>		
4+1-		
-		
7		
<u>. </u>		
- ,	19	
-		
Fags.		
•		
	に至っている。しかしながら,最近においても,高純度化や結晶粒 後細化などにより大幅な材料特性向上の可能なことが明らかとな	ど、二次的な効果を考慮すると、鉄鋼材料の研究開発が社会に果た す役割け全後レモダーでもス
,	WATER CARRY TO THE TO MAKE LANGUAGE	特別は 世帯との法やかせて
- ie		
-		
<u> </u>		
_	り ²⁷ , 今後の研究開発余地の大きいことが示唆されている。	環境調和型社会の構築に向かっていささかなりとも貢献できる
47	1,200	
7-		
- <u> </u>		
.7		